Combi

コンビ チャイルドシート

ハーネスフィットロング QW/LW

汎用型 質量グループ1,2,3

体重9kg以上～36kg以下の幼児・学童用

取扱説明書

品質保証書付

● お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。

●裏表紙の品質保証書の欄に必要事項をご記入ください。

● **本書は、チャイルドシート背面上部のポケットに保管してください。（4ページ参照）**

お使いいただく前に

お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

●表示について

この取扱説明書では、安全に正しくお使いいただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に想定される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したものです。大変重要な内容です。必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。
ワンポイント	チャイルドシートを使用する上で、知っておいていただきたいことや便利なことを示しています。

もくじ

各部のなまえ

ご使用前に、下記の各部品がそろっていることを確認してください。

梱包内容

本体 1	取扱説明書(本書) 1
ヘッドパッド(QWのみ) 1	お客様登録カード 1

各部のなまえ

正面

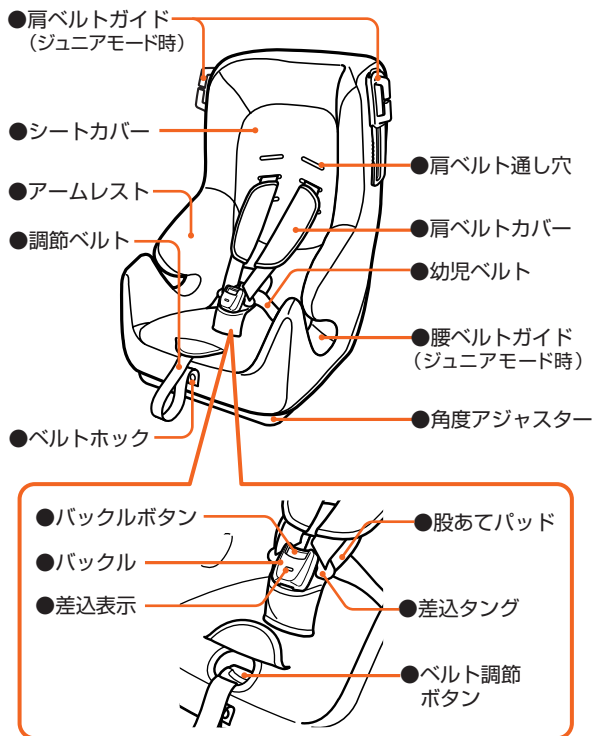
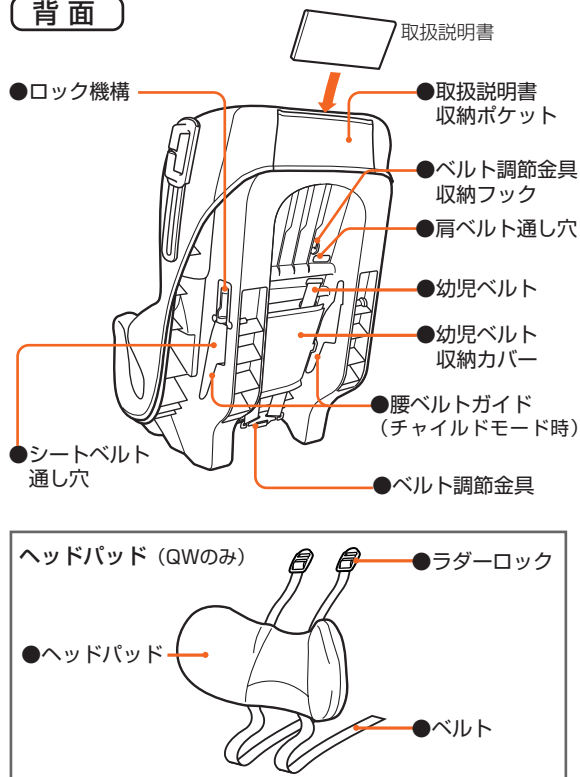
●肩ベルトガイド（ジュニアモード時）
●シートカバー
●アームレスト
●調節ベルト
●ベルトホック
●肩ベルト通し穴
●肩ベルトカバー
●幼児ベルト
●腰ベルトガイド（ジュニアモード時）
●角度アジャスター
●バックルボタン
●バックル
●差込表示
●股あてパッド
●差込タング
●ベルト調節ボタン

背面

取扱説明書
●ロック機構
●取扱説明書収納ポケット
●ベルト調節金具収納フック
●肩ベルト通し穴
●幼児ベルト
●幼児ベルト収納カバー
●腰ベルトガイド（チャイルドモード時）
●シートベルト通し穴
●ベルト調節金具

ヘッドパッド（QWのみ）

●ラダーロック
●ヘッドパッド
●ベルト

お使いいただく前に

使用条件

お使いいただけるお子さまの条件

本製品は、お子さまの成長にあわせて2段階の使いかたをします。

チャイルドモード

体重　9kg以上～18kg以下の　お子さま
身長の目安　70cm～105cm程度
年齢の目安　1才ころ～4才ころ

車のシートベルトをシートベルト通し穴に通して使用します。

ジュニアモード

体重　15kg以上～36kg以下の　お子さま
身長の目安　95cm～140cm程度
年齢の目安　3才ころ～11才ころ

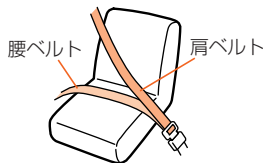
車のシートベルトを背もたれの肩ベルトガイドとアームレストの下に通して使用します。

※ 取り付ける車の条件によっては、肩ベルトガイドを使用しない通しかたになる場合があります。(36ページ参照)

3点式シートベルト専用

3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。

3点式シートベルトとは…図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

腰ベルト　肩ベルト

※ 2点式シートベルト装備の座席、エアバッグ装備の座席など、「取り付けできない座席」では、使用しないでください。

シートベルトの種類と使用上の注意

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN/ECE規則No.16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式安全ベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

※ 日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。 車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。
http://www.combibaby.com

⚠ 危険
必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

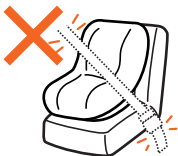
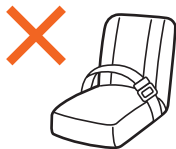
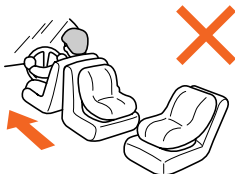
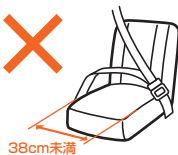
シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		チャイルドモード	ジュニアモード
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。本製品のロック機構により固定してください。	○ ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	ベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトをすべて巻き戻すと解除される)	○ シートベルトをすべて引き出し、チャイルドシート固定機能をきかせた状態で、本製品のロック機構により固定してください。	○ シートベルトをすべて引き出すと危険です。シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
NR	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	○ チャイルドシートにあわせてベルトの長さを調節し、本製品のロック機構により固定してください。	○ チャイルドシートにあわせてベルトの長さを調節し、固定してください。
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。		× 使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、ご使用の車の取扱説明書をご覧ください。

取り付けできない座席

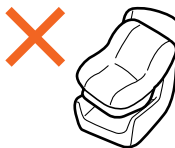
本製品は、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。また、前座席へ取り付ける場合には、安全性を高めるため、車のシートを後にスライドさせてのご使用をおすすめします。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。
- パッシブシートベルトの座席。（オートマチックシートベルト）
  …ドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。とくに輸入車に多い。
- シートベルトの取り付け幅が38cm未満の場合。

38cm未満

- エアバッグ装備の座席。
  サイドエアバッグのみの車には使用できます。
- 座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。
- 極端なバケットシート。
  （座面の中央が極端にへこんでいる座席）
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。

40cm未満

- シートベルトが座席の中間から出ている座席。
  …チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。

シートベルト通し穴

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

●使用条件に適合しないお子さま・座席などでは使用しないでください。

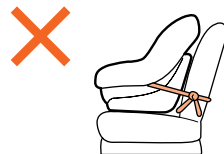
●車のシートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにチャイルドシートをしっかり固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。
座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。

●エアバッグ装備の座席では本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

⚠ 危険

●お子さまを座らせたときには、シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。

●車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。

●車に取り付けるときは、シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。

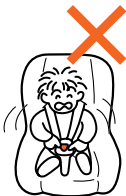
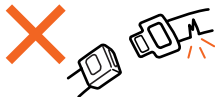
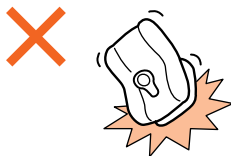
⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードの場合はシートベルトをはずして)すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。…幼児ベルトは正しい長さに調節してください。（24ページ参照）
- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問いあわせください。
- 幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザにお問いあわせください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

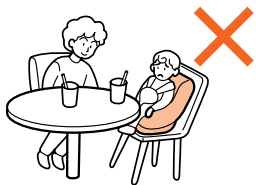
次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故のもととなります。必ず保護者が同乗して使用してください。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、ジュニアモードでは固定機能を働かせないでください。お子さまが締めつけられ、胸が圧迫されます。（6ページ参照）
- お子さまが座っていないときでも、本製品は必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けないでください。

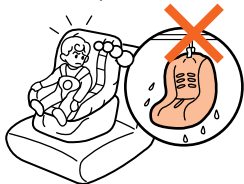
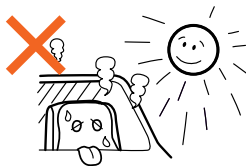
お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

⚠ 注意

●通常の椅子として使用しないでください。転倒するおそれがあります。

●風雨にさらさないでください。

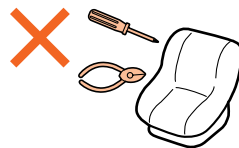
●固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。

●シートカバーをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（安全性能に影響を与えるおそれがあります）

●直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。

⚠ 注意

●走行中は、各部の操作や調整をしないでください。

●車のシートの可動部やドアに挟まないように、十分注意してください。

●肩ベルトガイドを持って、持ち運ばないでください。落下するおそれがあります。

●本製品を改造したり、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。

●車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままで取り付けないでください。

お使いいただく前に

車に取り付ける前に

座席の準備

車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。
7、8ページをご覧ください。

⚠ 危険

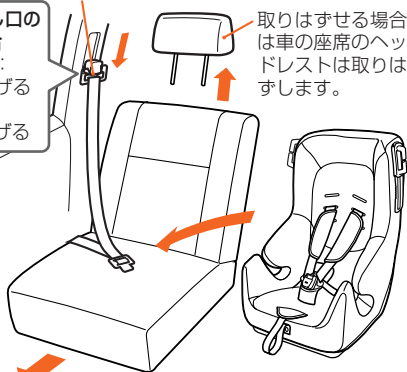
- エアバッグが装備された座席では本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。サイドエアバッグのみの場合には使用できます。
- 座席の種類などにより、本製品をしっかり取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能を果たさず大変危険です。

⚠ 警告

2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合は、助手席には本製品を取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

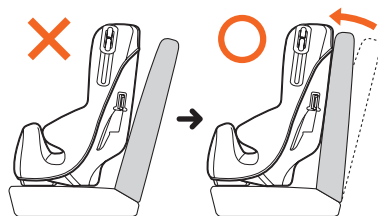
本製品を前向きに車の座席に置く。

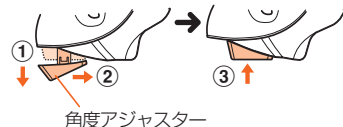
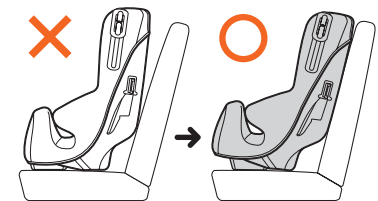
角度アジャスターの使いかた

車の座席背もたれの角度は、車種によって異なります。
このため、本製品の背もたれと車の座席の間にすき間ができる場合があります。
その場合は角度アジャスターを使用して、すき間を調節します。

⚠ 警告

すき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

本製品を車の座席に置いて、座席とのすき間がないか確認してください。

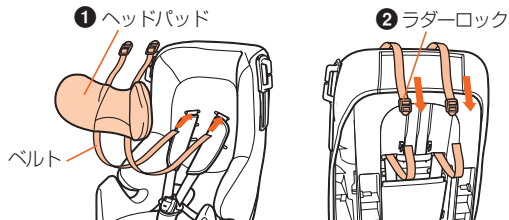
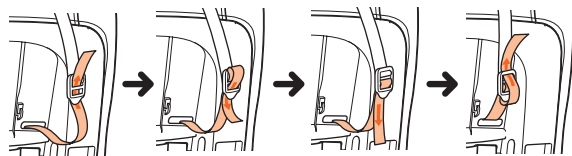
- **リクライニングできる車の場合は、リクライニングを調節してすき間をなくします。**
- **リクライニングできない車の場合は、角度アジャスターで調節します。**

角度アジャスターの使いかた

① アジャスターを引き出し、
② 後方にスライドさせ、
③ アジャスターを押し込む。

ヘッドパッドの使いかた(QWのみ)

ヘッドパッドは、取り付けかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

⚠注意
- はずしたヘッドパッドを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- チャイルドシートを持ち運ぶときには、ヘッドパッドを持たないでください。

1 ❶ヘッドパッドのベルトを、幼児ベルトを通している肩ベルト通し穴に通し、❷ラダーロックをシートの上部から回しこむ。

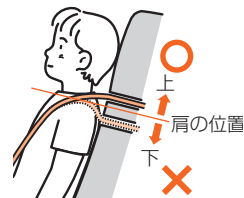
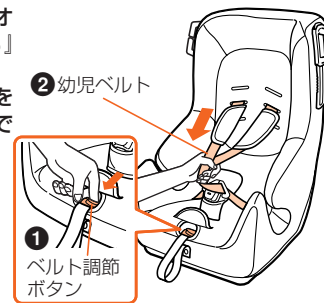
❶ ヘッドパッド
❷ ラダーロック
ベルト

2 ベルトを図のようにラダーロックに通し、取り付け、最後にベルトの先端を上に出した状態でとめる。

チャイルドモードの準備

肩ベルト通し穴の位置の決めかた

肩ベルト通し穴位置
お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。

⚠警告
- 肩ベルト通し穴位置は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。
- 肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。

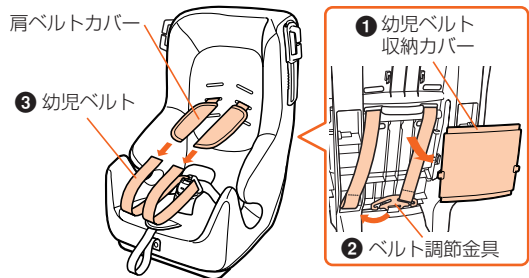
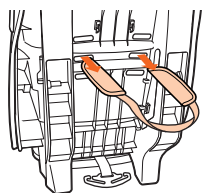
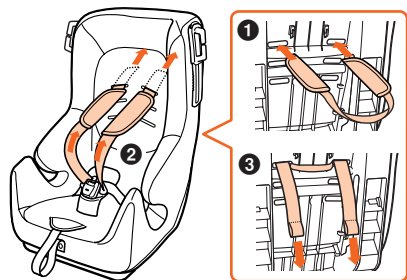
1 お子さまをチャイルドシートに座らせ、正しい肩ベルト通し穴の位置を確かめる。

○
上
肩の位置
下
×

2 ❶ベルト調節ボタン(オレンジ色)の『PRESS』を押しながら、
❷ 左右の幼児ベルトを手前に引けなくなるまで引き出す。

❷幼児ベルト
❶
ベルト調節ボタン

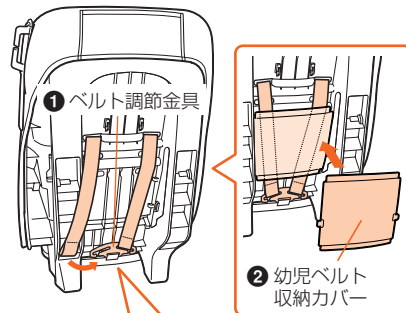
次ページにつづく➔

チャイルドモードの準備

3 ❶本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずす。
❷ベルト調節金具から幼児ベルトをはずし、❸肩ベルトカバーから引き抜く。

肩ベルトカバー
❸ 幼児ベルト
❶ 幼児ベルト収納カバー
❷ ベルト調節金具

4 肩ベルトカバーは、本体背面に出ているベルトを引き、片方ずつ引き抜く。

5 ❶肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通して、❷肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通し、❸本体背面に引き出す。

6 ❶幼児ベルトをベルト調節金具に取り付け、
❷幼児ベルト収納カバーを上下に注意し、取り付ける。

❶ ベルト調節金具
❷ 幼児ベルト収納カバー

○ ×
幼児ベルト
調節ベルト
ベルト調節金具

⚠注意 ベルト調節金具と調節ベルトが、幼児ベルトと本体の間を通るように取り付けてください。

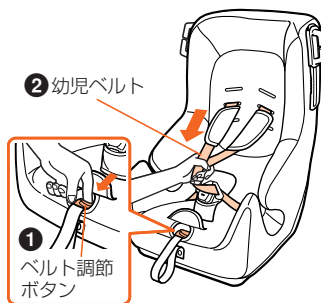
チャイルドモードの準備

お子さまの座らせかた

あらかじめ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体にあわせてください。（18～20ページ参照）

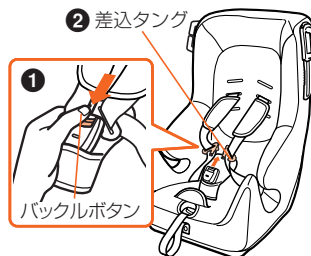
⚠警告

- かさばった服を着せたまま、乗せない。
- お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

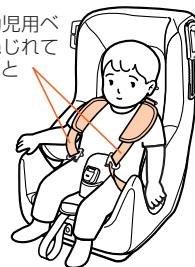
1 ❶ベルト調節ボタン(オレンジ色)の『PRESS』を押しながら、
❷左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。

❷幼児ベルト
❶ベルト調節ボタン

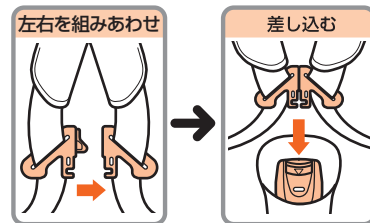
ワンポイント

- 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。必ず、幼児ベルトを引いてください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

2 ❶バックルボタンを押して、
❷ 差込タングをはずす。

❷差込タング
❶バックルボタン

3 お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。

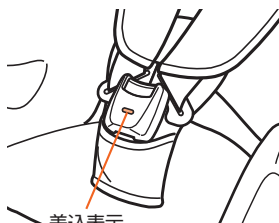
左右の幼児用ベルトがねじれていないこと

4 左右の差込タングを組み合わせてから『カチッ』と音がするまで、差込タングをバックルに差し込む。

左右を組みあわせ → 差し込む

ワンポイント
バックルのボタンは、お子さまの力では、はずしにくいように固くしてあります。

次ページにつづく➔

⚠警告
左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。

車への取り付け

5 差込表示が『緑色』に変わっていることを確認する。

差込表示
赤色が緑色に変わります。

6 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節する。

調節ベルト

お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児用腰ベルトを低く下げること。

幼児ベルトの長さ調節のしかた

お子さまを座らせて、幼児ベルトがフィットするように長さを調節します。左右どちらかのベルトを強く引くと、左右のベルトの長さが変わりますので、左右の幼児ベルトの長さが同じになるように調節してください。

警告
- 必ずベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
- 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

幼児ベルトを短くするには（お子さまを乗せ終わったら）

調節ベルトを引きます。

調節ベルト

ワンポイント お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。

幼児ベルトを長くするには（お子さまをおろすときは）

❶ベルト調節ボタン（オレンジ色）の「PRESS」を押しながら、❷左右の幼児ベルトを手前に引きます。

❷幼児ベルト

❶ベルト調節ボタン

ワンポイント
- 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。幼児ベルトを引いてください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っぱりながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

車への取り付け

ジュニアモードの準備

お子さまの座らせかた

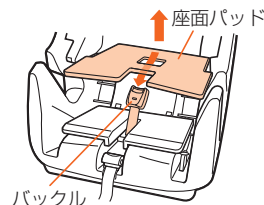
お子さまを座らせるときは、以下のことに注意して深く座らせてください。

⚠ 警告

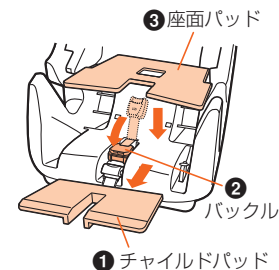
- 本製品は、シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者の方の補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者の方が本製品に乗せ降ろしをしてください。
- お子さまを図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。
  - お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。
  - 中腰・正座・立てひざなどをする。
  - のけぞる、前かがみになる。

バックル、幼児ベルトなどの収納方法

ジュニアモードでは、バックル、幼児ベルト、チャイルドパッドなど使用しない部品を収納します。収納はシートカバーをはずして行います。シートカバーのはずしかたは、38、39ページをご覧ください。

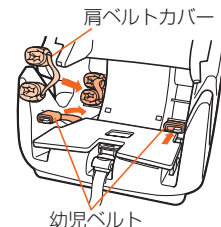
1 座面パッドを持ち上げ、バックルを座面パッドの通し穴から引き抜く。

座面パッド
バックル

2 ❶チャイルドパッドをはずし、
❷バックルを本体座面の収納場所に納める。
❸その上から座面パッドを置く。

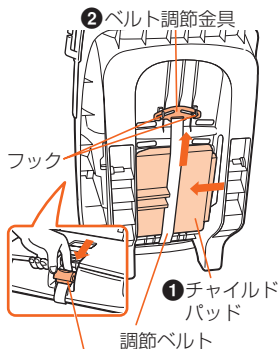
❸座面パッド
❷バックル
❶チャイルドパッド

⚠ 警告

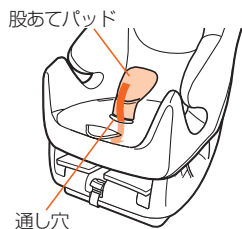
ジュニアモードでは、必ずチャイルドパッドをはずしてください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず危険です。

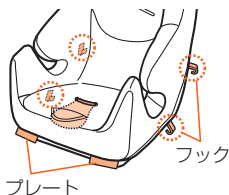
3 幼児ベルトを差込タングと一緒にまるめて、図のように収納する。
肩ベルトカバーも同様に収納する。

肩ベルトカバー
幼児ベルト

次ページにつづく➔

ジュニアモードの準備

4 **ベルト調節ボタンを押して、調節ベルトを最大に引き出し、**
❶チャイルドパッドを調節ベルトに挟み込む。
❷ベルト調節金具を本体背面上部の収納フックにひっかけ固定する。

❷ベルト調節金具
フック
❶チャイルドパッド
調節ベルト
ベルト調節ボタン

5 **シートカバーをかぶせ、股あてパッドを通し穴からシートカバーの座面下に入れる。**

股あてパッド
通し穴

6 **シートカバーをフック、プレートで本体に取り付ける。**
シートカバーの詳しい取り付けかたは、39、40ページをご覧ください。

フック
プレート

車への取り付け

ここでは、取り付け上のご注意、チャイルドモードの取り付けかた、ジュニアモードの取り付けかたを説明しています。
※車の座席形状などにより、取り付けできない場合があります。
詳しくは7、8ページを参照してください。

⚠危険

- チャイルドシートがしっかりと固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。
- エアバッグが装備された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、大変危険です。
※サイドエアバッグのみの場合には、使用できます。

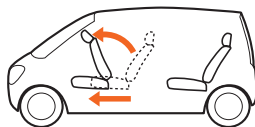
⚠警告

- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。
- お子さまが乗っていないときでも、チャイルドシートは必ずシートベルトで固定しておいてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けないでください。
- 2ドア車、3ドア車で後座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。

車への取り付け

取り付け作業の前に

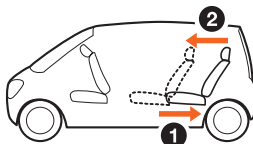
1 取り付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平らな場所で行う。

2 車内の作業スペースを確保するため、前座席をたおしたり、スライドさせてから取り付ける。

ワンポイント

スライド機能のある座席への取り付け方法
※チャイルドモードの場合のみ

❶ 取り付け座席にスライド機能がある場合は、取り付け前に、1番後ろにスライドする。

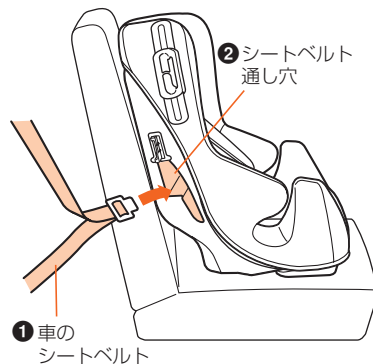
❷ 取り付け手順終了後に取り付け座席を前にスライドさせると、より確実に固定できる。

車への取り付け

チャイルドモードの取り付けかた

（体重9kg以上～18kg以下のお子さま）

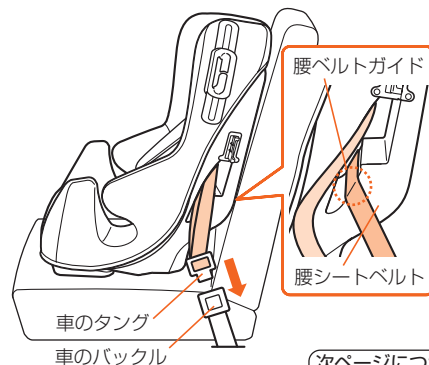
取り付けかた

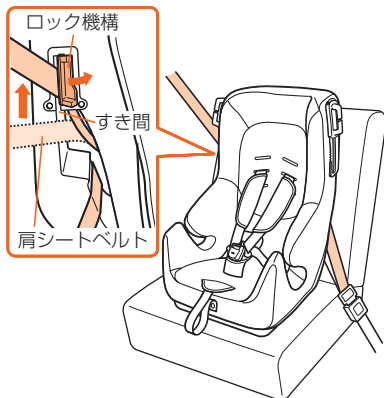
1 ❶車のシートベルトを引き出し、❷シートベルト通し穴に通す。

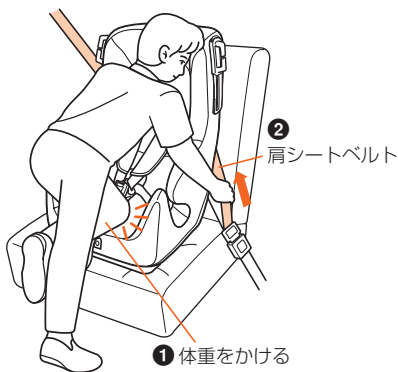
❷シートベルト通し穴
❶車のシートベルト

2 シートベルトを反対側のシートベルト通し穴から引き出し、シートベルトにねじれがないことを確認し、車のタングをバックルに差し込む。
このとき、腰シートベルトが腰ベルトガイドに左右ともかかっていることを確認する。

腰ベルトガイド
腰シートベルト
車のタング
車のバックル

次ページにつづく→

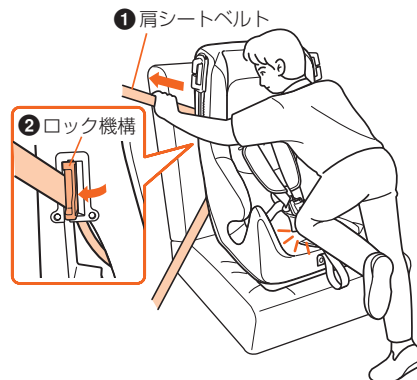
車への取り付け

チャイルドモードの取り付けかた

3 車のバックルと反対側のロック機構を開き、すき間に肩シートベルトを通す。

ロック機構
すき間
肩シートベルト

4 ❶チャイルドシートにひざを乗せて体重をかけながら、
❷車のバックル上部の肩シートベルトを強く引く。

❷ 肩シートベルト
❶ 体重をかける

5 ❶もう一方の手で、反対側の肩シートベルトを引っぱり、ゆるみを取る。
❷シートベルトが引き込まれないように、ロック機構を閉じてベルトをロックする。

❶ 肩シートベルト
❷ ロック機構

⚠ 警告

車のタング・バックルが腰ベルトガイドにあたる場合は、取り付けが不安定となりますので、取り付け直すか、その座席での使用を中止してください。

×　○

車のタングが腰ベルトガイドにあたっている

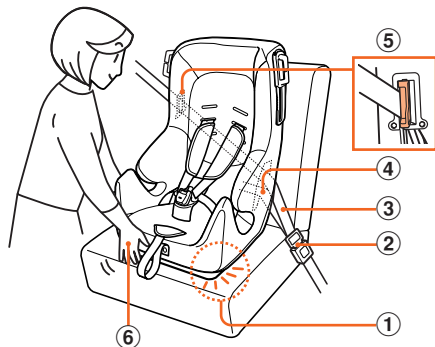
※ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問いあわせください。

車への取り付け

車への取り付け

チャイルドモードの取り付けかた

チャイルドモードの取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

① チャイルドシートが車の座席にフィットしていること
② シートベルトのタングがバックルに確実に差し込まれており、はずれないこと
③ シートベルトにゆるみ･たるみがないこと
④ 腰シートベルトが腰ベルトガイドの左右にかかっていること
⑤ 車のバックルと反対側のロック機構に肩シートベルトが通り、ロックされていること
⑥ 座面前部を持ち、前後左右にゆすり、約3センチ以上動かないことを確認する。

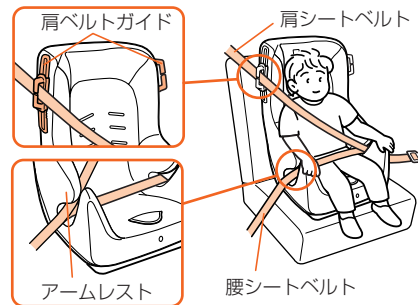
⚠警告
これらの項目をチェックし、しっかり取り付けられていない場合は、再度調節してください。
それでも、しっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

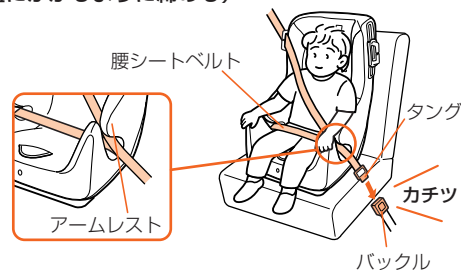
ジュニアモードの取り付けかた

（体重15kg以上～36kg以下のお子さま）

取り付けかた

1 車のシートベルトを引き出し、肩シートベルトを肩ベルトガイドに通し、腰シートベルトを腰ベルトガイド（アームレストの下）に通す。

肩ベルトガイド
肩シートベルト
アームレスト
腰シートベルト

2 車のタングを反対側の腰ベルトガイド（アームレストの下）に通し、『カチッ』と音がするまで、しっかりとバックルに差し込む。（その際、必ず腰シートベルトがお子さまの骨盤にかかるように締める）

腰シートベルト
タング
カチツ
アームレスト
バックル

ジュニアモードの取り付けかた

肩ベルトガイドの使いかた

肩ベルトガイドの高さ調節

お子さまの体格にあわせて、肩ベルトガイドを適切な高さにしてください。

肩ベルトガイド

⚠警告

● 肩ベルトガイドは車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩ベルトガイドが低くなったときには、高さを調節し直してください。

● お子さまの後頭部がヘッドレストの上端よりも上に出る場合は、使用をおやめください。そのまま使用すると事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

肩ベルトガイドの高さ目安

お子さまの首に肩ベルトがかからないように、またお子さまの肩からベルトがはずれないように調節してください。

肩ベルトガイドの使用条件

肩ベルトガイドは、車のシートベルト取り出し口と肩ベルトガイドの高さにより使用条件があります。
お子さまの体格にあわせて、肩ベルトガイドを適切な高さに調節した後、使用条件をご確認の上、正しくお使いください。

⚠警告

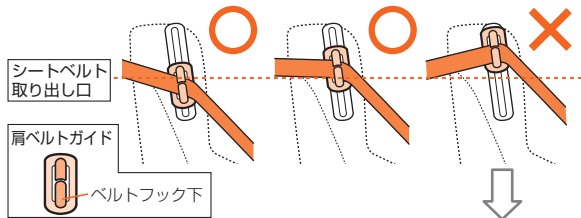
車のシートベルト取り出し口よりも肩ベルトガイドが高くなる場合は、肩ベルトガイドは使用しないでください。取り付けが不安定となります。

肩ベルトガイドの使用条件と使用条件にあわない場合のシートベルトの通しかた

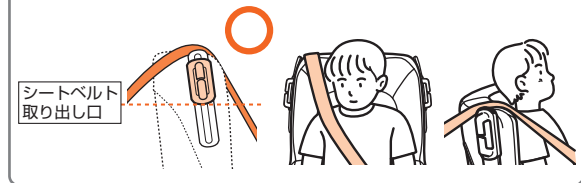
図のように、車のシートベルト取り出し口よりも肩ベルトガイドのベルトフック下が高い位置にある場合は、肩ベルトガイドは使わず、チャイルドシートの上を通してください。

シートベルト取り出し口

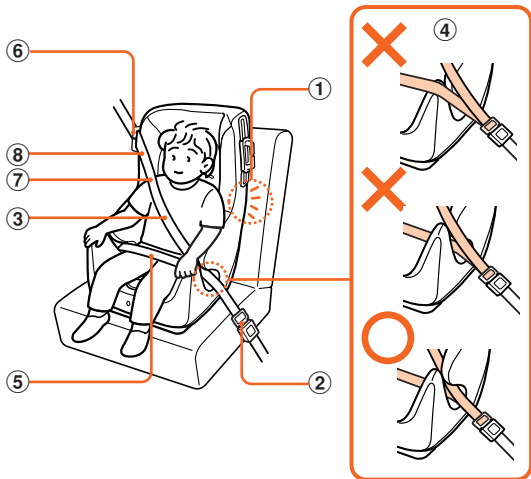
肩ベルトガイド

ベルトフック下

肩ベルトガイドを使わず、チャイルドシートの上を通して、取り付けてください。

シートベルト取り出し口

車への取り付け

ジュニアモードの取り付けかた

ジュニアモードの取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、本製品が正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。

①チャイルドシートが車の座席にフィットしていること。
②タングがバックルに差し込まれており、はずれないこと。
③シートベルトにねじれやたるみがないこと。
④車のシートベルトがアームレストの下を通っていること。
⑤腰シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
⑥肩ベルトガイドの使用条件に従い、肩シートベルトが正しく通っていること。
⑦肩シートベルトがお子さまの肩からはずれたり、首に当たったりしていないこと。
⑧お子さまが前かがみになったあとでも、ベルトが引き込まれること。

⚠警告 これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再度調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

お手入れのしかた

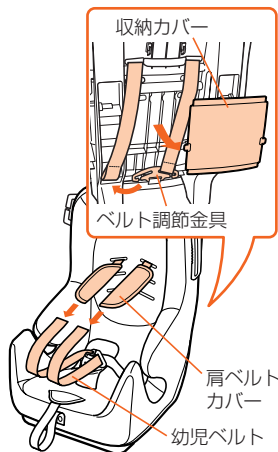
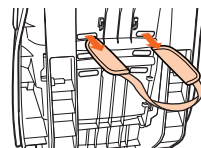
シートカバーのはずしかた

※チャイルドモードを例にして説明しています。

1 ヘッドパッドをはずす。(QWのみ)

ヘッドパッド

2 本体背面の幼児ベルト収納カバーをはずし、左右の幼児ベルトをベルト調節金具からはずし、肩ベルト通し穴、肩ベルトカバーから引き抜く。

収納カバー
ベルト調節金具
肩ベルトカバー
幼児ベルト

3 肩ベルトカバーを本体背面の肩ベルト通し穴から片方ずつ引き抜く。

4 シートカバーの左右側面4ヵ所のフックとシート前部のプレート2ヵ所をはずす。幼児ベルトの差込タングをバックルからはずし、調節ベルトをシート前部のベルトホックからはずす。

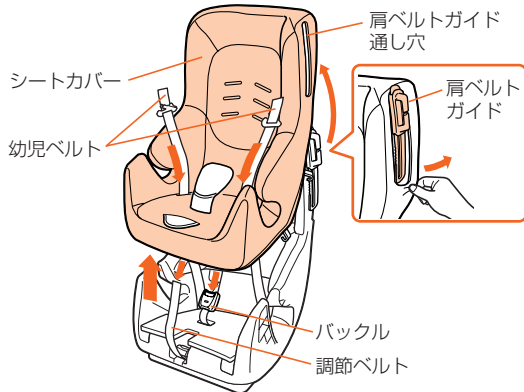
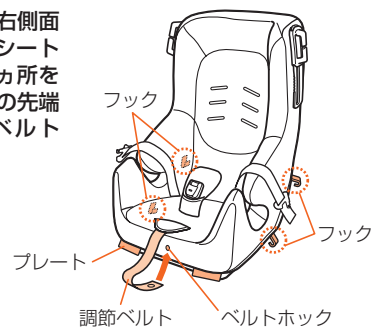
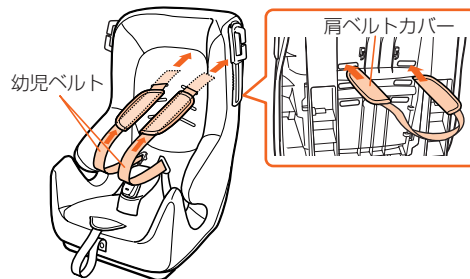
差込タング
フック
フック
プレート
調節ベルト
ベルトホック

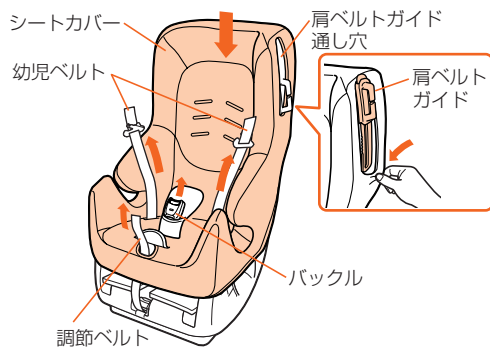
次ページにつづく→

お手入れのしかた

5 肩ベルトガイド通し穴から、肩ベルトガイドをはずす。シートカバーを持ち上げ、幼児ベルト、バックル、調節ベルトを引き抜き、シートカバーをはずす。

シートカバーの取り付けかた

1 シートカバーを本体にかぶせ、肩ベルトガイドを肩ベルトガイド通し穴に通す。バックル、幼児ベルト、調節ベルトをそれぞれの通し穴からシート表側に引き出す。（ベルトはねじれないように注意してください）

2 シートカバーの左右側面4ヵ所のフックとシート前部のプレート2ヵ所をとめ、調節ベルトの先端をシート前部のベルトホックでとめる。

3 肩ベルトカバーを本体背面からシート表側に通し、幼児ベルトを肩ベルトカバーの内側を通して肩ベルト通し穴から、本体背面へ通す。

4 幼児ベルトの先端をベルト調節金具に取り付け、幼児ベルト収納カバーを取り付ける。

お手入れのしかた

洗いかた

シートカバー、肩ベルトカバーの洗いかた

洗濯するときには、次のことを守ってください。

手洗い 30	液温は30℃を限界として手洗いしてください。		塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。		ドライクリーニングはしないでください。
ヨ ワ ク	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。	平	日陰で平干してください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常は、かたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

⚠警告 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管のしかた

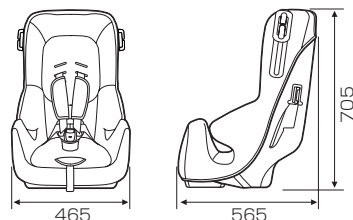
本体
長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書(本書)
よくお読みのうえ、チャイルドシート背面上部のポケットに保管してください。

廃棄のしかた

●お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様(QW/LW)

製　品　サ　イ　ズ: (W)465×(D)565×(H)705mm

製　品　質　量: ●本体…6.1kg(QW)
●本体…5.9kg(LW)
材　　　　質: ●本体…ポリプロピレン/ポリエチレン
●シートカバー…ポリエステル
●座面パッド…ウレタン
●チャイルドパッド…ポリエチレン